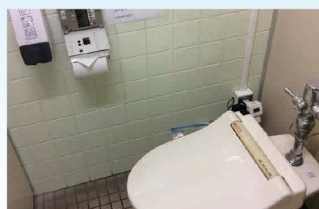


# CASE 04

業種：官公庁 従業員数：102名  
 診断対象施設の用途：庁舎  
 年間エネルギー使用状況：(原油換算：42.6kL/年)  
 ※省エネ診断時に提出のあった資料に基づく

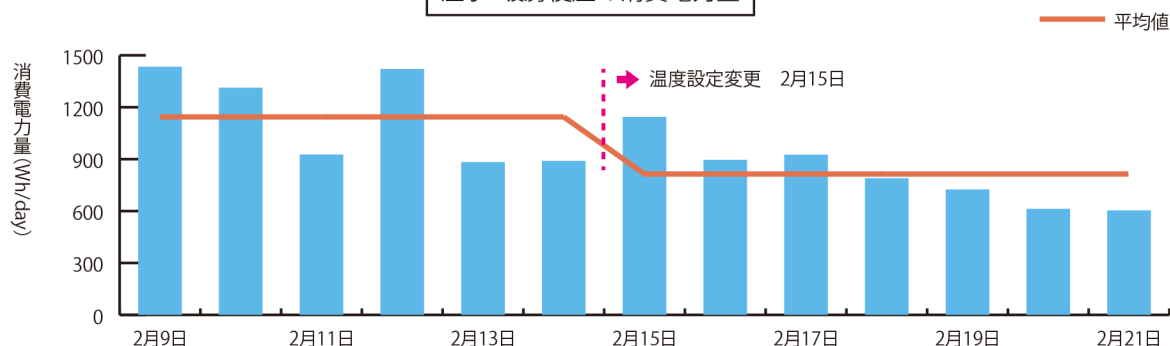
省エネ診断					実施の有無	実施結果		
提案内容	エネルギー種別	エネルギー削減効果		CO <sub>2</sub> 削減効果 (t-CO <sub>2</sub> /年)		エネルギー削減効果		CO <sub>2</sub> 削減効果 (t-CO <sub>2</sub> /年)
		削減金額 (千円/年)	原油換算 (kL/年)			削減金額 (千円/年)	原油換算 (kL/年)	
① 温水・暖房便座の温度低減	電力	1.3	0.01	0.03	○	1.2	0.013	0.030
② 通用口照明の消灯	電力	2.5	0.03	0.06	○	2.5	0.026	0.060
③ 事務所照明の消灯管理	電力	10.9	0.11	0.26	×	-	-	-



提案①については、男子トイレ洋式便座の暖房・洗浄用温水の温度が最大40℃に設定されているため、最低の30℃に低減する提案だった。2月15日より実施し、2月9日から21日までの検証結果を下図グラフに示した。

提案①について、電力使用量を測定し、省エネ前後のエネルギー使用量の変化を調べた。

温水・暖房便座の消費電力量



温度設定の変更前後で約30%の削減を達成!

エネルギー使用量計測状況 (取組前：1144kWh/日 →取組後：814kWh/日)

